

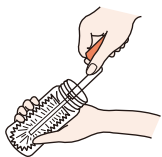
〈はじめてご使用になる前〉びんと乳首、キャップ、フード、ニップルケアなどは必ず洗浄と消毒をおこなってください。

※哺乳びんの乳首には、乳首を保護するために食品添加物のオイル状保護剤を塗布しております。

安全性に問題はございませんが、はじめて洗ってからご使用ください。

洗浄の方法

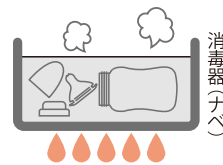
- ミルク成分は時間が経つと、とれにくくなります。授乳後はすぐに専用洗剤などやナイロンブラシでしっかり洗浄してください。
 - 乳首の乳孔と空気弁は軽くもみ洗いしてください。空気弁が詰まると、ミルクが出なかったり、乳首が陥没することがあります。
- ※洗浄時に裏返ってしまった乳首は、哺乳びんにセットして使用できません。変形の原因になりますので、無理にセットしないでください。



消毒の方法

【煮沸の場合】

沸騰中のお湯に全体を沈め、約3～5分、煮沸してください。煮沸消毒では熱湯を使用します。お子さまがそばにいるときは特に危険ですので、ヤケドなどには十分ご注意ください。過度の煮沸は、製品を早く傷めます。たっぷりのお湯を使わないと、鍋などのふちについて変形の原因となります。また、シリコンゴムは、色素や水分を吸着させる性質がありますので、ご注意ください。



【薬液の場合】

薬液消毒には哺乳びん・乳首専用の消毒液や「殺菌剤製剤/チュチュベビーつけるだけ」をご使用ください。詳しくは、ご使用の消毒液の取扱い方法に従ってください。

【電子レンジの場合】

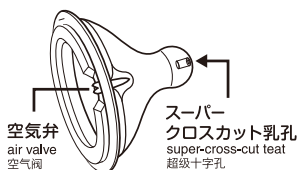
電子レンジ消毒をするときは、各種消毒用品の取り扱い方法に従ってください。

※紫外線消毒をされると、プラスチックとゴム部分の劣化が促進され、白く変色したりひび割れの原因となりますのでおやめください。

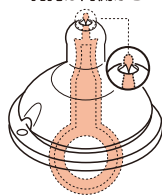
ニップルケアで乳首のお手入れ

乳首のクロスカットと空気弁が粘着(ひっつき)を起こすことがあるため、ニップルケアでお手入れをお願いします。(粘着していると赤ちゃんがミルクを飲めません。)

赤ちゃんがミルクを飲みやすくするため、乳首はこの2カ所を毎回授乳直前、キャップにセットする前にケアしてください。



乳孔は内側から



ニップルケア
teat-care / 黄色叉子



空気弁は外側から

ニップルケアを軽く回しながら押し広げ、乳孔・空気弁がしっかり開いているか、つまりがないかをご確認ください。

ご使用後のお手入れ

哺乳びん・乳首のご使用後は、すぐに洗浄と消毒を必ずおこなってください。ミルク汚れは乳首と哺乳びんにつきやすく、白くこびりついて落ちにくくなったり、乳首のつまりの原因ともなります。十分な洗浄と消毒をこころがけてください。

乳首と哺乳びんをセット

① キャップの下から乳首を通します。	② 乳首のふくらみがきれいに出るよう、引っぱってセットします。	③ はずれないよう、哺乳びんにしっかりセットします。

調乳と授乳について

- 調乳方法は各粉ミルクメーカーの調乳方法をお確かめください。
- 調乳には一度沸騰した70℃以上のお湯をお使いください。
- 乳首とキャップを哺乳びんにセットして、ヤケドしないように清潔なふきんなどで哺乳びんを持ち、中身をよく混ぜてください。
- 調乳後は流水にあてる等、授乳できる温度(約40℃)まで冷やしてください。このとき乳首に水がかからないように、フードを取りつけてキャップより下に流水を当ててください。
- チュチュベビーのスーパークロスカットは、びんを傾けてもミルクが垂れてきません。温度はヤケドに気をつけてそのまま哺乳びんを頬に当てて確かめてください。(冷やした後は哺乳びん表面が冷たくなっていますので、ミルクの温度にならしてから確かめてください。)
- 授乳は赤ちゃんを抱きながら、必ず保護者が行ってください。



※お湯が高温の場合、哺乳びんを勢いよく振ると、びん内の空気が押し出されて、乳首先端部やキャップとの嵌合(はめあい)部からミルクが噴き出し、ヤケドの恐れがありますのでお気をつけください。

